

超高齢社会における低栄養の予防と対策 —多職種連携とMNA®について—

MNA®: Mini-Nutritional Assessment (簡易栄養状態評価表)

とき **7月21日(日)** 午前 **9時~11時**

ところ **ホテル金沢 2階 ダイヤモンド** 定員200人
(金沢市堀川新町1番1号 TEL:076-223-1111)

講師 **雨海 照祥 氏**

武庫川女子大学 生活環境学部 食物栄養学科 教授

対象 歯科医師、医師、医療・介護関連職種の方など

参加費 **無料** (要申込み) ※保険医協会の会員でない方もご参加いただけます

◎ご注意ください
開始時刻が30分早まり、9時開会となりました。
終了時刻も1時間早まりました。

口からの食べ物・栄養摂取を支援するため、歯科医師は歯科治療・口腔ケアに取り組んでいるところですが、近年、高齢者の低栄養の問題がクローズアップされるようになってきました。

日本は世界に先駆けて2007年、人口の21%以上が65歳以上の高齢者という超高齢社会に突入しました。最近では3000万人を突破したという報道までありました。

云うまでもなく、医療費総額に占める高齢者の医療費の割合は5割を超え、増加傾向をたどっています。寝たきりとなったり、要介護や要支援とならないように、高齢者の健康寿命をのばす取り組みが必要となってきており、その大きな柱の一つが低栄養の改善とされています(栄養、運動、口腔衛生)。それは、低栄養がサルコペニア、肺炎、骨折、内臓障害、窒素死に到る原因の大きなものであるからですが、対象となる高齢者の日常の医療に携わる職種の多さから、連携の困難さが想起されています(医師、看護師、栄養士、ケアマネージャー、介護スタッフ、歯科衛生士、歯科医師など)。そのため、これら多職種間で栄養評価の共通化が必要であり、それは簡便、正確で、汎用性のあるものが望まれます。

「MNA®」(簡易栄養状態評価表)はまさにそうしたニーズに応えるべく生まれたものであり、今回、日本にMNA®を積極的に広めておられる武庫川女子大学教授・雨海照祥先生にご講演をいただくことは、MNA®の持つ利点、現場で生じる課題やその解決例など、理解を深める貴重な機会となると思います。是非、ご参加ください。

歯科医師、医師、
医療・介護関連職種のみなさんへ

石川県保険医協会

金沢市尾張町2-8-23 太陽生命金沢ビル8階
TEL 076-222-5373
FAX 076-231-5156
Email ishikawa-hok@doc-net.or.jp



◆講演抄録◆ 超高齢社会における低栄養の予防と対策—多職種連携とMNA®について
雨海 照祥

KEYWORDS : 超高齢社会、健康寿命、低栄養(症候群)、
MNA-SF ®、サルコペニア

我が国の65歳以上の高齢者人口が全人口に占める割合(高齢化率)は、23.3%とされる¹。また県別高齢化率では、石川県は23.9%、全国45都道府県中35位と低いものの、2035年の高齢化率の伸び率は10.6%、全国17位と予測されている¹。

一方、2013年、厚生労働省が初めて算出した「日常生活をサポートなしで過ごせる」健康寿命は、男性70.42歳(平均寿命79.55歳)、女性73.62歳(同86.30歳)であった。平均寿命と健康寿命との差を算出してみると男性9年、女性12年を超える。このことは高齢者の最後10年間、サポートを必要とする生活を送っていることを意味する。

今後30年以上、高齢化率が上昇し続けると予測される我が国において、高齢者の生活を考える際に、健康寿命を少しずつでも伸ばし続けるための科学的根拠に基いた政策立案は急務といえる。

このような社会背景において、日常生活の中心軸の一つと考えられる【栄養】がその一翼を担えるか、の検証は重要であろう。言い換えると、高齢者の【低栄養(症候群)】の予防、早期発見・早期治療の可能性を検証する必要があるといえる。

そこで今回そのツールとして開発された高齢者のための栄養アセスメントツール(Mini-Nutritional Assessment: MNA-SF ®)²の有用性を検証し、さらに発見された低栄養

症候群における骨格筋の量と質の低下であるサルコペニア³の意義を概観することで、日本の社会の近未来の改善を考えたい。

参考文献

- 1, 平成24年版高齢社会白書、内閣府
- 2, 高齢者の栄養スクリーニングツール MNAガイドブック: 雨海 照祥監修. 医歯薬出版, 2012.
- 3, 栄養・運動で予防するサルコペニア: 葛谷雅文・雨海照祥監修. 医歯薬出版, 2013.

<ご略歴>

- 1982年 筑波大学医学専門学群卒業
1982年4月 順天堂大学附属病院 外科見学生、外科研修医を経て
1984年 順天堂大学附属病院 小児外科 勤務
1987年 静岡県立こども病院 外科 勤務
1989年 山梨県立中央病院 小児外科 勤務
1989年7月 筑波大学附属病院 小児外科チーフレジデント
1990年 茨城県立こども病院 小児外科 勤務
1992年 筑波大学臨床医学系 小児外科講師
1993年~1994年 英国バーミンガム小児病院 外科医員(英国医師免許取得)
2004年 茨城県立こども病院 小児外科部長
2007年 武庫川女子大学 生活環境学部 食物栄養学科 教授【医学博士】

参加申込書

2013年 7月21日(日)

9:00 ~ 11:00 ホテル金沢にて

★開始・終了時刻が変更になりました

申込締切

7月12日(金)

- ▶ このまま切り取らずにFAXを送信して下さい ⇒ FAX 076-231-5156(保険医協会宛)
- ▶ 電話、メールでの申し込みも可能です(連絡先は表面参照)

① 医療機関(団体)名: _____ ② 電話番号: _____

参加者名	職種 ○で囲んでください
	医師・歯科医師・その他()
	医師・歯科医師・その他()
	医師・歯科医師・その他()